

若狭消防署で火災現場での消火活動や救急活動によって住民の安全を守る前田さん。幼いころから町中を走る消防車や消防士に漠然と憧れていたと言い、「高校在学中、将来と真剣に向き合ったときに、地元で人の役に立つ仕事をしたいと考え、この職業を選びました」と振り返ります。

昨春から配属された高浜分署には、17人が所属。最年少の前田さんは、「いろいろ教えてくれる先輩ばかり。勤務中は24時間生活を共にするので、全て吸収していきたい」と意気込みます。

信頼される消防士を目指して



勤務先 若狭消防署（高浜分署）
前田 拓馬 さん
(22 歳・北川)

「現場での活動には、普段からの車や資機材などの整備・点検が欠かせません。いつ出勤要請があっても冷静に対処できるように準備しています」

「過酷な現場も少なくない」と語る前田さん。そんな中でも「日頃の訓練や経験を通して、少しずつですが、周りを見ながら考えて行動ができるようになってきました。今後は、より多くの知識や技術を身に付け、自分の役割をしっかりと果たすことで、住民や同僚から信頼される消防士になりたいです」と力強く話してくれました。



文書工房てらもと 代表
寺本 栄治 さん
(77 歳・上中井)

「6歳で大病を患い、医師から『20歳まで生きられない』と言われたほど、幼いころから体が弱かった」という寺本さん。読書好きが高じて益軒の『養生訓』に出会い、「みんなに元気で長生きする方法を知ってもらおう」ことで、

「私も100歳まで健康に生きることがを目標に、今後も規則正しい生活を続けていきたいです」と笑顔で語ってくれました。

本に関する問い合わせは、寺本さん
☎090・1635・0952まで。

きりり！小浜人

「元気で100歳」を目標に

昨年、喜寿を迎えた寺本さんは、平成26年、江戸時代の儒学者・貝原益軒が記した健康の指南書『養生訓』を、現代風にアレンジし紹介する『平成養生訓』を執筆。近隣や公民館のほか、県内外からの問い合わせに応じて約200冊を発行しました。

自分がお世話になった人たちに恩返しをしたい」と執筆を始めました。

健康長寿の秘訣として、本で紹介している「常に頭を使い、過ぎた欲望は厳しく慎む」などのほか、「目標を持ち、そこに向かって努力することが大事」と語る寺本さん。

2年生6人、1年生13人が所属する小浜中学校野球部でキャプテンを務める小原くん。兄の影響もあり、小学2年生から地元の少年野球チームに所属し、競技に打ち込んできました。

昨秋行われた若狭地区新人戦では、惜しくも予選リーグ敗退。「最上級生として初めての大会。敗れはしましたが、ベンチの盛り上げ方などプレー以外に学べたことも多い」と捉えます。

「野球はチームプレーが重要なスポーツです。みんなで盛り上げて、チーム全体で成長していきたいです」

感謝を忘れず全力でプレー

冬季に入りオフシーズンの現在、部では、基礎トレーニング中心の練習に励んでいます。「きついメニューも多いが、基礎体力をつけるためにも、部員が今できることに全力で取り組みたい」と春に備えて強化を図ります。

部の目標である「感謝できるチーム」を目指して、「全員が地域の人や先生、家族への感謝を忘れないようなチームにしていきたい」と語る小原くん。「キャプテンとしても、チームをしつかりまとめて地区優勝を目指します」と元気に話してくれました。



野球部 キャプテン
小原 常和 くん
(小浜中学校2年生)



弓道部 キャプテン
上前 一華 さん
(若狭東高校2年生)

2年生8人、1年生8人が所属する若狭東高校弓道部。キャプテンを務める上前さんは、体験入部で先輩が弓を引く姿を見て、「とても格好良くて、自分もそうなりたいと思って入部しました」と、弓道との出会いを語ります。

上前さんをはじめ、部員はみんな、高校から弓道を始めたいわば初心者。互いに練習や試合で気づいたことをアドバイスし合って切磋琢磨した結果、昨年11月の新人戦では、女子団

「みんな同じスタートだからこそ、上達を結果で実感できたときに、やりがいやうれしさを感じます」と話す上前さん。

9月に秋季選手権に出場した際に、「自分が中てれば勝てる場面で、緊張から思うように実力を出せず、的外して負けてしまった」悔しさをバネに、見事雪辱を果たしました。

今後の目標は「自分にとって最後の大会になる、夏の高校総体で優勝して、インターハイへ出場すること」と、意気込みを語ってくれました。

燃えろ！青春！部活道

仲間と切磋琢磨し上達重ねる

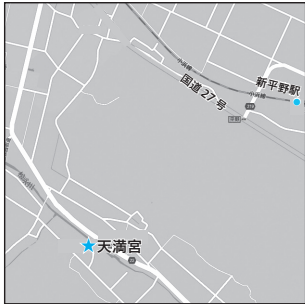
天満宮

昨年の 12 月、ホームステイに来ていたシンガポールの大学生 2 人を連れて、市内各地を案内して回る機会がありました。その際に訪れた中で、2 人が一番感動していたのが、上野にある天満宮です。

谷あいにある杉林の風景と、その中に学問の神様が鎮座するという神秘さに、心打たれた様子でした。

この地域では、毎年 12 月 25 日に菅原道真公にちなんだ「天神講」が行われ、朝、子どもたちが習字を書き、天満宮に参り、学業成就を願います。

調べてみると、地方によっては日付が異なったり、カレイを食べる風習があったりするそうです。境内にたたずむ牛の像をなでるたび、子どものころにみんなが集まって参加した天神講を思い出します。



【アクセス】

小浜市上野

ＪＲ新平野駅から車で 12 分

小浜ＩＣから車で 15 分

【文と写真】

地域おこし協力隊 オカモト



我らが学び舎～閉校に向けて～

遠敷小学校



● 学校のあゆみ

明治 6 年 妙行寺の一角を借りて螢雪校として創立

明治 35 年 螢雪尋常高等小学校と改称

明治 38 年 遠敷尋常高等小学校と改称

昭和 22 年 遠敷小学校と改称

昭和 28 年 台風 13 号により大きな被害を受ける

昭和 42 年 鉄筋コンクリートの 3 階建校舎が完成

平成 16 年 創立 1 0 0 周年記念事業を実施

平成 20 年 下根来小学校と統合

平成 31 年 4 月に「小浜美郷小学校」に統合される 4 校を紹介

※次号では、小浜美郷小学校について紹介します

● 地区の紹介

遠敷地区は、市の東部に位置し、古くから奈良や京の都と深い交流を持つ、歴史深い地域です。

若狭一の宮である若狭彦・姫神社や、伝統神事「お水送り」を執り行う神宮寺など、多数の名所古刹があるいにしえの里にして、古くは鯖街道や丹後街道が、現在は国道 27 号が通り、今も昔も交通の要所です。



● 学校の取り組み

遠敷小学校では、『未来への扉をひらく心豊かな遠敷の子』を学校目標に掲げ、仲間とともに学び合い、困難にねばり強く挑戦する子の育成を目指しています。

児童には、中学校や小浜美郷小学校に進んでも、「ふるさとの良い伝統を継承しつつ、新たな歴史を創る」存在になってほしいと考え、地域の人々との交流や体験活動を通して、頭・心・体をバランスよく鍛え、未来社会をたくましく生きる力を備える教育に取り組んでいます。

宮川小学校



● 学校のあゆみ

明治 15 年 前身の懐民小学校、必成小学校を創設

明治 34 年 現在地に野木・宮川組合立尋常小学校を創立

昭和 22 年 宮川小学校と改称

昭和 30 年 小浜市立宮川小学校と改称

昭和 34 年 伊勢湾台風により大きな被害を受ける

昭和 37 年 鉄筋コンクリート 3 階建の新校舎が完成

平成 6 年 本館校舎・体育館を大規模改修

平成 14 年 創立 100 周年を記念しタイムカプセルを埋める

● 地区の紹介

市の最東部に位置する宮川地区は、三方を山に囲まれた田園地帯です。6 つある集落には、豊作を願う「虫送り」や「オイケモノ神事」など、伝統行事が数多く残ります。

水田の一部を活用した広大なひまわり畑には、観光バスのルートに組み入れられるなど、地区の夏の風物詩として市内外から多くの観光客が訪れます。



● 学校の取り組み

宮川小学校では、『ふるさとに学び、ふるさとの未来を考えられる子の育成』という教育目標のもと、「豊かな関わりの中で自ら学ぶ子」の育成に向けて、自然学習や農業体験など、少人数学級の特性を生かした友だち・地域・教材との関わりが豊かな授業に取り組んでいます。

地域のさまざまな人と積極的に関わりを持つことで、中学校や小浜美郷小学校に進んでも、「わがふるさとを愛する子」に育つよう教育活動を展開しています。

健康生活のとびら

子宮がん検診を受けていますか？

がん検診

たくさんさんのメディアで「がん」が取り上げられるようになり、多くの女性が、がん検診を受けるようになってきています。一方で、まだ受診したことがない人やずいぶん前に受けたが、最近はどう受けていないという人もいます。20 代の人でも「子宮がん」に罹患することがあり、中には妊娠初期検査で異常が見つかることもあります。

きっかけを作って受診しましょう

がん検診は、無症状だとなかなか受けることがないのではないのでしょうか。市町がん検診（個別検診※個人で予約し、個別検診医療機関でがん検診を受診する検診のこと）では、20 歳以上を対象に、子宮頸がんの検診を 2 年に 1 回受けることができます。特に症状がなくても、この通知を良い機会として、検診を受けてみてはどうでしょう。

これ以外でも、20 歳の誕生日や就職時、婚約時、子どもの入園・入学や進学時など、これからも健康に過ごしたいという人生の転換期にこそ受けても



杉田玄白記念 公立小浜病院

■問い合わせ ☎52・0990

産婦人科
服部 由香 医師

「要精密検査」の結果であれば必ず次の検査を受診しましょう

集団検診や個別検診の結果（通知はがき）に「要精密検査」と記載があり驚く人がいますが、この結果は必ずしも「がん」を示しているわけではありません。正常な細胞と違う見え方をしているのので、「一段進んだ検査を受けましょう」という意味を表しています。

子宮がん検診は痛い検査ではありません。緊張して体がこわばることで痛みを感じてしまいますので、リラックスして検査に臨みましょう。

